

学校だより
5月号

つなしま



令和8年4月24日
横浜市立綱島小学校

【学校教育目標】 共に創り 共に歩み 共に輝く

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

朝の時間を大切にしています

校長 金森孝子

私の一日は、8時5分の門の開錠からスタートします。今年度から登校班での通学を任意としたことから、8時前に正門に到着し、門が開くのを待っている子どももいます。そのため、私は、8時には門で子どもたちを見守るようにしています。「校長先生、ダンゴムシ、たくさんいる!!」「あと何分?」「あと5分、家を出る時間を遅くするといいですね。」などと会話を交わしたり、正門の近くの時計を確認したりしながら開門時間を待ちます。しばらくすると、登校班の子どもたちも到着し始めます。現在、危険を避けるため、正門は、ある程度人数が集まったところで開門するようにしています。東門は、子どもたちが待機する場所がないため、人数の多い登校班が到着したところで開門しています。登校児童の確認や防犯のため、8時15分のチャイムと共に門を閉め、鍵を掛けます。

教室に入った1年生の子どもたちは、朝の支度をすませてから「あそびたいむ」に入ります。4月は、子どもたちが安心して学校に通うことができるように、幼稚園、保育園、認定こども園などでの生活や遊びを取り入れながら、緩やかに学校生活をスタートさせます。子どもたちは、自分のペースで遊びや場所を選んで、約30分間活動します。第一音楽室には、「お手玉」「けん玉」「カプラ」「ブロック」などのコーナーがあります。教室前ホールには、座って活動できるコーナーがあります。「ウノ」「かるた」など、一人で遊び始めても、自然と誰かが集まってきます。「みんなでぬりえ・おえかき」「みんなでめいろ・てんつなぎ」「まとあて」、大型絵本がある「ほんよみ」コーナーもあります。教室で折り紙やお絵かきをしている子もいます。子どもたちは、自由に場所を移動しながら、やりたい活動を楽しみます。その後、音楽を合図に、遊び道具や用具を片付け、自分の教室、座席へと戻ります。幼児教育と小学校教育を架け橋のように繋いでいく「スタートカリキュラム」は、子どもの「安心感」と「主体性」を育むことを大切に、子どもの成長に合わせて内容を吟味しながら年間を通して行っています。



2年生以上の子どもたちは、8時20分～35分の15分間、朝学習に取り組みます。主に曜日ごとに内容も変わり、朝会、児童集会、音楽集会にその時間が充てられることもあります。4月は、どの学年も新出漢字の学習の取組が多く、2・3・4年はドリルを用いて、5・6年は、ノートで、漢字の習得に取り組んでいます。5年生は、今週、理科の学習に合わせて資料集めを行ったということでした。6年生は、金曜日の漢字小テストに向けて、各自学習を工夫して進めています。また、交代で1年生のお世話にも行っているということでした。朝の15分間の学習が、静かな中で整然と行われることによって、子どもたちは、1時間目の学習にスムーズに入ることができます。この取組は、日常の学校全体の落ち着きを保ちつつ、子どもたちの学びを深めていくための大切な時間となっています。

保護者の皆様には、朝の活動や学習の充実のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和8年度 綱島小学校 第1回学校運営協議会(4月21日)

引き続き猿渡功会長のもと、新たに主任児童委員、竹生祥子様を委員としてお迎えしました。教育活動の充実、地域との顔の見える関係の構築、交流の活性化などのため、発足5年目の協議会を、今年度も計画的に開催していきます。委員として11名、顧問として町会長様4名の皆様にお力をお借りします。運動会や授業参観を含め、年間5回の協議会を実施します。

